

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム フルーツの家

(ユニット名)

4ユニット

記入者(管理者)

氏名

野中 善貴

評価完了日

平成 20 年 11 月 15 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は職員が作成している。利用者がその人らしく生活ができて和やかで笑顔あふれる日々を過ごせるよう理念をつくりあげている。		ずっと同じ理念であるが、利用者も多く変わっており、生活スタイルも違うので理念の見直しを考えている。
			(外部評価)		
			事業所では、「その人がその人らしく生活」することを支える理念を、職員で話し合い作成されている。		さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎朝申し送りの時に全員で運営理念を読み上げている。笑って過ごせるように勉強会や社内・社外の研修、業務を通して取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			事業所の理念を共用空間や会議室、職員室に掲示されている。さらに、年間目標やユニット理念等も作成し、理念を日々実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			市の相談員、学校、近所のスーパーや保育所との交流もあり、認知症について理解を求め、協力していただけるようにホームとしての理念を伝えている。		運営推進会議の中にミニ介護講座などを入れ参加した人に認知症を少しでも理解して頂けるようにしている。近所との付き合いなどはもっと増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 周囲に民家は少ないが、外庭掃除や散歩へ出かけたり外で食事をする時には挨拶をするように徹底している。また近くの保育園児も時々立ち寄ってくれる。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会や老人会などには参加できていない。近くの保育園の運動会には参加させてもらったりしている。ホームでの夏祭り大会には地域の方々も参加している。 (外部評価) 併設デイサービスから情報を得て、菊を育てておられるお宅に菊見に出かけられた。その後、お礼に何う等されている。近隣保育園児がお散歩の途中、立ち寄られることもある。		公民館で年間の行事のスケジュール・老人クラブやボランティアの事も調べたので、自分達ができることで関わっていきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 市町村と連絡をとり、介護教室や認知症介護を受託している。運営推進会議においてもミニ介護講座などを取り入れている。また、中学生の職場体験実習の受け入れや各自治会などへキャラバンメイトの活動を実施している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価や研修などを通して、他者からの意見や情報交換をし、自分達だけの考え方や意見だけではなく、多くの意見を参考にして改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、項目を3項目ずつ毎日、職員で話し合い、この一年間を振り返りながら作成された。管理者がユニットごとにまとめられており、職員個々のケアの捉え方等を把握された。事業所ではこの一年、保育園の運動会に参加されたり、市の広報誌等を見て、少人数で出かける等、個別の支援に力を入れて取り組まれた。前回の評価結果を受けて、ユニットの出入り口の開閉等、利用者の寒暖へ配慮し、居間のテーブルの位置等、工夫しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回の会議で、多くの方々に参加してもらって、外部評価のとりくみや結果など聞いて話し合い、改善できる事はなるべく早く実行し、サービスの向上につなげられるよう努力している。		
			(外部評価)		
			会議への参加者が以前より増えてきている。「夏祭り大会」に参加いただき、アンケートを取られたり、事業所の取り組みについて意見や要望を出していただき、反映に努めておられる。又、「ミニ介護講座」を行い、認知症やケアについての知識や理解等を深めておられる。		今後、会議には、他グループホームの方等も参加する予定となっていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			ホーム内での事故や苦情等は、連絡や相談をさせてもらっている。何かあった時には市町村へ報告し、適切な発言や指導をしてもらい、サービスの質の向上を図っている。また、市の相談員が月に1度訪問してくれている。		市町村へ連絡をする場合のマニュアルや事例を書式化したものを作成していきたい。
			(外部評価)		
			法人代表者は、地域の認知症ケア向上に熱意を持って取り組まれており、市や県等が行う研修の講師等として協力をされている。又、事業所のケアや運営等、相談しながら取り組まれている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			社内の勉強会や社外の研修にも参加して学び、理解しようと努力している。法務局からの人権擁護委員の来訪もある。入居者の中で、成年後見制度を活用している人もいる。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			社外の研修会や、社内の定期的な勉強会やミーティングを通して理解し、日頃から虐待防止に対する意識を高め職員間でも気を付けるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけて利用者や家族が納得するまで話し合っている。		不安や疑問が少しでも軽減できるように、これからも努力していきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に1度、市の相談員が来てくれ、相談業務を行ってくれている。職員は日頃から不満や苦情を聞くようにし、何か言われた時にはすぐ対応し、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 年に4回、写真入りで便りを出している。心身の状態に変化が起きた場合や、受診をした時には家族さんへ連絡している。職員の異動に関しては、家族へ紹介したり掲示板で紹介している。		
			(外部評価) ユニットの入り口に掲示板を設け、季節感のある装飾で、行事や外出時の様子の写真がコメント入りで掲示されていた。又、ご家族へ届ける「お便り」には、ご本人の事業所での様子や行事の報告、今後の予定を載せ、ともに写真も添えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気軽に言ってもらえる雰囲気づくりを心がけている。苦情の場合には、速やかに報告し、対応している。また苦情の報告書を利用し、ミーティングや勉強会で話し合い改善している。		
			(外部評価) 1・2・3ユニット、4・5ユニットで家族会を開催し、事業所の日々の取り組みについてご意見を伺ったり、職員の紹介等もされている。又、ご家族一人ひとりと個別に話し合うような機会も設けておられる。ご家族からいただく意見は、話し合いを行い改善へ向け取り組めるよう努めておられる。		さらに、遠くにお住まいのご家族や足遠くなっているようなご家族、「事業所にお任せします」と言われるようなご家族からも、具体的にご意見をいただけるよう、働きかけを続けていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回部署別会議で意見を聞く機会がある。また、運営者や管理者がホーム内にいるので、日常的な会話の中で意見や提案をよくしており、利用者に関わる事を中心に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 休みでも協力して欲しい時があるかも知れないので、その事は採用時に伝えている。欠勤者がある場合は、休日出勤などして対応している。		緊急連絡網を作成しており、緊急の場合には事業所全体で協力し合っている。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの職員が継続的に対応できるよう職員の異動も最小限に抑えている。各ユニットの職員を固定化し顔馴染みの職員によるケアを心がけている。 (外部評価) この一年間、職員の離職は少なく、利用者や職員は馴染みの関係となっている。新しい職員には、管理者が不安なことはないか聞かれたり、サポートをされている。		
<b>5.人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内では年間計画の中で研修を位置づけている。新人、1年、3年、5年の段階に応じた研修を行っている。事業所外での研修は、なるべく多くの職員が交替で参加できるようにしている。 (外部評価) 「研修班」を設け、内部研修の充実を図っておられる。県GH協議会主催の職員研修等、外部研修にも積極的に参加されており、職員が勉強できる機会を多く作り、個々のレベルアップを図っておられる。		社内研修では、実技なども入れており、実際に現場で活かせるように、これからも内容を充実させていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			定期的に社外研修や勉強会で交流を持っている。また相互研修などで意見交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		運営推進会議などで、今後は同業者間でも互いに訪問できる機会を設けてみたい。
			(外部評価)		
			法人代表者は、県GH協議会の研修講師もされており、他事業所からの実習等も受け入れておられる。又、職員は、相互研修で他事業所の取り組みを知り、「ケアや取り組みについて学んだり考える機会となった」と話しておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日頃から困る事は聞くように努力している。また、親睦会や、隣接の体育館を借りてソフトバレーやパドミントンをして、気軽に楽しめる場をつくっている。		今後も継続して行こうと思う。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			協力してもらった時には感謝の言葉をかけている。努力や実績は年2回以上、職員一人ひとりに対して人事考査を行っている。		場合によっては厳しい勤務体制になってしまう事があるが、なるべく平等になるようにもっと配慮していきたい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			訪問してもらっただけではなく、こちらからも訪問したりもして、不安や困っている事、求めている事を本人からよく聴くように努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事業所へ相談に来られた時に、家族が不安に思っている事や求めている事などをよく聞き出し、受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 今は何が一番大切かをよく把握して、本人や家族の本音を理解して、サービスの情報を紹介している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 通所介護や訪問介護、訪問看護も併設しており、ホームや利用者との馴染めるような環境を整えている。慣れるまでは家族と連絡をとってもらったり、訪問してもらうようお願いしている。 (外部評価) 法人代表者は、入居前にご本人を訪ね、ゆっくりお話をされている。帰りたいたいと言われる方には、ご自宅近くまでドライブをされることもある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) フェイスシートに新しく今できること、という項目を増やし、その人の得意・不得意やできること・できないことも把握し、利用者から学ばせてもらうよう関わっている。教えてもらったり助けてもらった時には感謝の気持ちを伝えている。 (外部評価) 職員は、利用者から感謝の言葉をかけてもらうことで、「感謝の言葉を伝えることの大切さを学んだ」と話しておられた。		訂正版フェイスシートを作成して書き込んでいるが、付け加えたりすることがあまりできていないので、今後はできるように工夫したい。  さらに、生活の中で、職員が、利用者個々から教えてもらったり、学ぶような機会を増やしていかれることが期待される。利用者の意欲・自信につながるような支援について、職員のかかわり方の工夫を重ねていかれてほしい。又、利用者個々との関係作りにも努めていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホームで行事がある時は、面会時に声をかけて参加をしてもらうよう声をかけ、家族さんも一緒に本人を支えていけるように関わってもらっている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) フェイスシートなどを使用して、今までの本人と家族との関係の理解に努めている。皆で共有し、家族も一緒になって本人と関わっていけるように努力している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居する前に通所介護を利用されていた方などは、日中顔を出しに行ったり、職員側も何度か訪問するようにしている。日々の会話の中では馴染みの場所の話題も入れるようにしている。		以前住んでいた場所や、ずっと農業をしてきた田んぼや畑が気になる方に対して、今後は行ってみる事を検討してみる。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日々のコミュニケーションの中でなるべく職員が間に入るようにしている。状況に応じて職員がその中から抜け、利用者同士の関係を築けるように配慮している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院中の利用者には職員が再々面会に行っており、相談を受けたりする事もある。また、家族との関係がなくならないように連絡し、相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の意向や家族の意向は度々聞くようにしている。本人から聞く事が困難な人に対しては家族さんに聞いている。希望や意向は介護計画やフェイスシートに記入し皆で共有するようにしている。		フェイスシートに対しては、あまり付けたしができていないので、今後はどうしたらうまく活用していけるかを職員間で話し合い検討したい。
			(外部評価)		
			フェースシートに利用者の情報を記しておられる。ご家族に協力いただき、利用者ご本人のこれまでのことを書いていただいた。		職員は、利用者ともっと深くかかわっていきたいと考えておられた。又、法人代表者は、「ご本人の今の姿だけでなく、今までのことを知ることが大切」と話しておられた。さらに、利用者やご家族から得た情報をケアにつなげ、「希望が持てる生活」を支援していかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人や家族から情報をもらい、フェイスシートに記入している。以前よりも具体的に細かい事も記入できるように作成し直し、把握できるように努力している。		皆が同じ情報を持てるように工夫したい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			変化があればフェイスシートやカルテ、入居者情報に記入するように努めている。高齢の方も多いため、健康面や体力などにも配慮し、無理のない生活を送ってもらえるように支援している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の参加は十分ではないが、話しをよく聞きケアプランを作成している。また、サービスの開始前に家族に同意を得るようにしている。できるだけ具体的でわかりやすいように作成するように努力している。		家族に参加してもらうのは難しい部分もありますが、家族からもサービス内容等の意見を頂けるように何か考えたい。
			(外部評価)		
			ご本人の望むことを大切に、介護計画を作成されており、ご家族の来訪時等に相談されたり、意見を聞き、反映できるよう努めておられる。介護計画書を日々のケア記録に綴じて、職員が日々確認できるようにされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の期間に応じては見直しを行っているが、随時にはできていない。入退院や大きな状態変化に対しては、関係者との話し合いは行っているが、介護計画には十分に反映できていない。		状態の変化に合わせて見直しや作成をしていきたい。
			(外部評価)		
			現在、介護計画は、3か月ごとに評価を行い、6ヶ月ごとの見直しとなっている。退院時等には計画の見直しをされている。		さらに、介護計画の細やかな見直しから、利用者の状態に合わせた支援が行えるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子はカルテに記入している。気付きや工夫もカルテのA P欄に記入するようにしているが十分ではない。大きな変化に対しては、フェイスシートや介護計画の空きスペースへ付け足すようにしている。		情報の共有はできている時とできていない時があるので、いつも共有できているようにしていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状態に合わせて通院や送迎等の必要な支援はしている。家族からはリハビリの声が多いのでリハビリ室を利用し、毎日の生活に取り入れている。他のユニットや通所介護を利用の方も来るので、馴染みの関係もできている。訪問看護も併設しているので医療面ではフォローしてもらっている。		
			(外部評価)		
			実習生の受け入れをされている。事業所内にリハビリ室があり、健康器具やホットパック等が利用できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員や相談員もよく来てくれ、利用者の困っている事を聞いてくれている。消防署の方には防火訓練や緊急時の対応の勉強会(心肺蘇生法やAEDの使用・応急手当)などもしてもらっている。また、利用者さんの遠出の時などには警察の方にも協力をお願いしている。中学生の職場体験も受け入れている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 事業所内のケアマネジャーとの接点が多いため、地域のケアマネジャーやサービス事業所と話し合う機会はない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの職員の方とは周辺情報や支援に関する情報交換ができる関係を築いており協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が対応し、連携体制も確保している。必要な時や希望がある時も随時対応している。 (外部評価) 利用者やご家族は、隣接に病院があることで、いざという時の安心感を持っておられる。2週間に1回の往診や受診時には、職員や看護師が同行する等、医療機関と連絡を密にされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院の医師は理解があり、利用者の治療に応じて相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームの職員に看護職がいる。また、訪問看護が併設しており、看護師が利用者と関わる時間もあり、相談もしている。健康管理や医療面で協力してもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院に訪問し、主治医、病棟師長、ケースワーカーなどに経過を確認し、退所後の受け入れ態勢を整えることに努めている。家族と情報交換や希望も確認し、早期退院の支援をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、早い段階から家族、医師との話し合いを持っている。終末期に関する指針を定めている。(家族の協力、主治医の協力、医療行為は行わない)また、職員間の意識の確認も行っている。  (外部評価) これまで看取り支援を行った事例はないようだが、事業所は、看取りの指針を具体的に定め、支援を行う体制を作っておられる。「緊急時の対応」等、職員は、勉強会を行っておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所内でできること、できないことは確認し統一している。状況に合わせて医師や家族とも話し合い、ホームとして支援できる内容を相談し、最後まで普通の暮らしを支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) できるだけ本人に関わるケア関係者間で話し合い、情報交換を行うようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉かけや対応は気を付けるように心がけているが、場面によってはプライバシーの配慮に欠けている部分がある。</p>		<p>職員全員でプライバシーについて、場面場面でこれは良いこれは避けたいという事を1度話し合いしてみようと思う。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>質問は短い言葉で答えられるようにし、分かりやすく言うように心がけている。自分で決めたり納得してもらえるように、二択や三択での質問をなるべくしている。</p>		<p>言葉の出にくい人に対しては、家族さんに聞いたり、こちらでこうではないかと思うようにしている部分があるので、表情や態度からも感じとれるようにしていきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限り一人ひとりのペースに合わせて職員同士が声をかけ合い、利用者に合わせて過ごせるようにしている。</p>		<p>希望にそって支援できるように、もっと希望や意向を日常会話からもくみとっていけるように努力する。</p>
			<p>(外部評価)</p>		<p>職員は、自己評価に取り組み、「『利用者にとっていいこと』と決めつけ、ケアを行っていることもあるのではないかと振り返られた。ご本人に聞いたり、探りながら生活を支援していきたいと話しておられた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 毎月1回、地域の美容室から美容師が訪問してくれ、本人が希望する方は支援している。また、その人らしい身だしなみやおしゃれは、フェイスシートにあらかじめ家族さんや本人さんより聞いて支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の好みは、食事が出た時に好みを聞き出したり、普段の会話にも食事の話題を入れ、聞き出すようにしている。準備や片付けは、できる事の分担をなるべく一緒にしてもらうようにしている。		献立表はあるが利用者の目に入りにくいので作成を計画している。
			(外部評価) 食事担当の職員が、事業所全体の食事作りをされている。利用者の中には下膳をされている方もおられた。時に外食をされることもある。		さらに、汁物等、あたたかいものをあたたかい状態で食べられるような工夫や、食事時の職員のかかわり方等で、利用者一人ひとりが食事をさらに楽しめるよう、工夫できることはないか話し合う機会にされてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつや飲み物、果物などは職員と利用者が一緒に買い物へ行き本人が食べたい物を選んでいる。現在、お酒やたばこを望まれる方はいない。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンに合わせて、できるだけトイレで排泄できるようにトイレ誘導を行っている。また、排泄状況を記録している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			自由な時間に入っている人もいるが、職員の人数により、希望やタイミング通りではなく職員の都合になっている部分もある。		
			(外部評価)		
			毎日入浴される方や眠る前に入浴される方、熱めの湯加減を希望される方もいる。又、足湯を楽しみに温泉に出かけたり、事業所でも足浴を支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			高齢の方が多いため、日中も休んでもらう時間をつくっている。夜間に眠れるように昼間はリハビリ室を利用したり戸外散歩を行い、適度に体を動かしてもらうようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			生活歴はフェイスシートを作成し記録している。家事を主にしていた人には洗濯物を干したりたたんでもらい、男性利用者には大工仕事をしてもらったりしている。ずっと農業をしていた人に対しては、畑を手伝ってもらっている。天気のいい日には、季節によって咲いている花などを地域に見に出かけている。		
			(外部評価)		
			畑の草引きをされたり、お花を生けてくださる方、又、おしぼりや洗濯ものをたたんでくださる方もいる。事業所では「夏祭り大会」やお花見等、季節に合わせた行事の楽しみごとも行われている。クリスマス会では、職員が「水戸黄門」の劇をすることになった。「アイデア班」があり、利用者の楽しみ事等アイデアを出して企画されている。		管理者は、利用者個々のこれまでのことをさらに知り、支援につなげていきたいと話しておられた。利用者個々の懐かしい場所を訪ねることも検討されていた。職員は、食事やおやつ作り等、身近なことから利用者と共に生活を楽しむ工夫をすすめたいと話しておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理のできる人には家族と相談の上、小遣い程度持ってもらえるようにしている。職員がお金を管理している人に対しては一緒に買い物に出かけ、収支をお小遣い帳へ記録している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			全員ではないが気軽に外へ出られるようにしている。希望に合わせて戸外へ出かける時は職員も同行している。		
			(外部評価)		
			利用者の希望でうどんを食べに出かけたり、目の不自由な方も季節を感じに、紅葉狩り等に出かけておられる。毎日散歩をされる方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お墓参りなどは家族にも協力してもらって出かけている。また、その時々で本人が希望する場所へ出かけてりするが十分ではない。		家族さんも一緒に行けるよう呼びかけたり、協力をしていただけるよう努力したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人から希望があれば電話をしてもらっている。大切な人への手紙は、本人が書きたい時などにやり取りできるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			玄関や少しの空きスペースに花を生けている。面会時に居室にイスやテーブルを持っていき、落ち着いて話ができる空間づくりをしている。		面会時お茶やお菓子など出せるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会のテーマに取り入れ理解している。やむを得ない場合には、家族の同意を得ている。また、最小限の時間にし、拘束しなくて済むようにどうしたらよいかを度々話し合い、拘束しないケアを目指している。		定期的な勉強会を継続し、職員の意識を高める。言葉遣いにも配慮する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由な生活を目標に、日中は鍵をかけていない。 (外部評価) 玄関は鍵をかけず、職員が見守りされている。利用者が散歩される際には職員が同行されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室の中が見えないようにドアの一部をすりガラスに変え本人のプライバシーに配慮している。日中はホールにいる職員が見守っており、夜間は1時間おきに見回りし、安全を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 内服薬は鍵付きの棚に入れるようにしている。注意の必要な物は戸付きの棚などに置き、丸見えにならないようにしている。なくすより見守りを十分にするように日頃から呼びかけている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防火訓練や抜き打ちの避難訓練、勉強会などをして学んでいる。事故報告書やヒヤリハット報告書の提出をし、その時の状況や改善策を検討してミーティング等で話し合い、共有意識を持ち事故防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会や研修(社内・社外)を定期的に行っている。また、救急隊員に来てもらい、実技の指導もしてもらっている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防火訓練を定期的に行っている。昼間の対応は身につけているが、夜間の対応は不十分なところもある。地域の社宅、隣の病院、近くの工場からの協力体制はできている。		少しでも早く避難できるように訓練を重ね、努力したい。
			(外部評価) 抜き打ちの避難訓練を重ね、職員の意識向上につながっている。管理者は、「職員の行動や対応が迅速にできるようになった」と話しておられた。事業所は、3つの棟に別れており、いざという時には、協力し合えるよう話し合われている。		さらに、管理者は、避難訓練の際、不在の職員にも周知徹底していきたいと話しておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時には家族さんに説明し、運営者や管理者、職員が話し合い、リスクに応じてケース検討会議、業務改善会議、サービス担当者会議などで話し合いを行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 変化やいつもと様子が違うときは、看護師に報告し、すぐに指示をもらうようにしている。また、変わったことは入居者情報に書くようにし、情報の共有をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は理解しており、変化のある場合は看護師に報告し、主治医に報告している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維の多い芋類・海藻・豆・きのこ野菜類などは毎日食べてもらっている。水分を十分に補うようにしている。また、リハビリ室の利用やホーム周辺の散歩などを行い体を動かすようにしている。		食物繊維の摂取しやすい雑穀米も取り入れたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に歯磨きの声かけをして行ってもらっている。自分でできない人に対しては介助にて行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1日栄養所要量(熱量1300カロリー、蛋白50g)を基に献立作成しているが、あくまで目安であり、季節感や個人の嗜好などを重視している。咀嚼力や嚥下状態に合わせ材料を選び、キザミ、ミキサー、トロミをつけるなどの調理工夫を行っている。食事の水分量も合わせ1日2を目安にし、食事に汁物、果物などを付け、おやつ、お茶の時間を設けて摂取している。 (外部評価) 利用者の状態に応じて、お粥にされたり、食材を刻んだり、ミキサー食等、飲み込みやすいよう調理されていた。		キザミ食、ミキサー食が味も見た目も満足のいくものにしたい。行事食を増やしたり、パイキング形式にしたり、楽しみながら食事して頂く工夫をしたい。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 再々手洗いやうがいをし、自分のタオルを使用するようにしている。ハイター消毒での拭き掃除や、天気の良い日には布団干しをしている。感染症の対応は、感染症マニュアルを作り実行するようにしている。2名以上感染の疑いで保険所へ連絡をしている。		さらに、食事を摂りにくい方については、ご家族とも相談しながら食事内容等、工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作業前に調理者の衛生面をチェックしている。まな板と包丁は食材別に使い分けをしている。まな板、ふきん、調理器具のハイター消毒、煮沸消毒を毎日行っている。食材は旬の物や地元産の鮮度の高い物を選び、在庫はあまり置かないようにし、週に一度在庫整理している。</p>		
<p>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>緑を多くできるように、建物の周りに木や芝が植えてある。花も季節ごとに植え替えている。玄関には生け花など飾っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホールにはソファを置いたり、毎月カレンダーを手作りして見える所に貼っている。また、眩し過ぎないように状況に応じてレースのカーテンを使用している。テレビの音量は大き過ぎないように気を付けている。浴室では暖房器具で温度調整したり、座るところを畳にし、居心地よい空間になるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>早めからクリスマスの気分を味わってほしいという思いから、事業所の各所にクリスマスの飾りがされていた。畳の間のホットカーペットで食事をされたり、くつろいでおられる方もうかがえた。</p>		<p>居心地の良い環境作りという点から、臭いや雰囲気作り等についても点検する機会とされてはどうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホールにソファを置くなどして、いつでも誰でも座れるようにしている。また、廊下にも木のベンチを設置しており、一人でいたり気の合った人と座って話ができるようにしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			テレビやタンス、ベットはこちらで用意しているものをほとんどの人が使用している。本人の持ち込みのものは少ない。		本人や家族と話し、使い慣れたものを持ってきてもらえるように努力していく。
			(外部評価)		
			テレビやタンスが備え付けられている。カレンダーや写真を貼っておられる居室がうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎日朝と夕方に網戸にし、空気の入れかえをしている。それ以外にも、においや利用者の状況によって換気を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物内は段差をなくしている。廊下やトイレ・浴室など手すりが必要な所には手すりを設置して、立ち上がりや歩行などできることはしてもらっている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			お手洗い、お風呂など表示し、混乱しないようにしている。また居室も果物表示などで本人がわかるように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			季節によって中庭で花の世話をしている。畑でも野菜や果物などを作り収穫している。ベランダは洗濯物を干したり、布団干しをしたりしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者さんの中には意思疎通など難しい方もいるがその時、その時の表情などで理解に努めている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時の水運補給の時や夕食前など時間がゆったりできる時は一緒にテレビの水戸黄門や相撲などを見て会話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分のペースで暮らしている場合もあればスタッフ都合になってしまっている場合もある。なるべく無理強いしないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一緒に歌をうたったり、踊りを踊る時などはとても生き生きした表情を見せてくださる。目標を思いやりを持って接すると決め、優しく対応するように心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調面の都合もあり、行けている人と行けていない人に差がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月に2回中央病院より往診があり、みなさん受けている。その他の異常時などはホーム内にいる看護師に報告し、随時受診している。安全面では十分とは言えない部分がある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チームで話し合いどうしていくかを上司や運営者と相談して少しでも良いサービスが提供できるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	年に2回家族会を行い家族の要望を聞く機会がある。普段面会に来られた時などにも聴いている。また、気軽に会話できるように心がけており信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	併設の通所介護に来ている人達との馴染みの関係が出来ている。また利用者の家族や友人もよく来てくれ、たまには近くの保育園児や市の相談員や民生委員の方も来てくれる。

